

糸島市職員の募集について

～ 幅広い視野を持った人材を確保するため、年齢要件を緩和します ～
(消防吏員Dを除く。)

平成28年度糸島市職員採用試験を下記のとおり実施することになりました。
なお、公示日を平成28年7月1日としておりますので、ご配慮をお願いします。

記

1 内 容

(1) 試験の区分と採用予定者数等

試験の区分	採用予定者数等
一般事務A	9人程度(30歳まで)
土木技術B	3人程度(35歳まで)
文化財C	1人程度(35歳まで)
消防吏員D	3人程度(26歳まで)

(2) 日程と会場

ア 申込受付期間：平成28年8月1日(月)～8月15日(月)

イ 第一次試験日：平成28年9月18日(日) 会場：糸島市立前原西中学校

ウ 第二次試験：平成28年10月中旬～下旬(予定) 会場：糸島市役所本庁舎

エ 第三次試験：平成28年11月中旬～下旬(予定) 会場：糸島市役所本庁舎

(3) 試験案内及び申込書の配付

糸島市役所本庁舎の市民課(1階)、総務課(2階)、消防本部、各消防署及び各校区公民館に備え付けています。また、市ホームページからもダウンロードできます。郵便での請求も可能です。

2 添付資料 「平成28年度糸島市職員採用試験案内」

【問い合わせ先】
総務部 総務課 人事係
担当：大西
TEL：323-1111(内線1216)
332-2100(直通)

伊都国歴史博物館夏季企画展「よみがえる糸高の名宝」展の開催について

●概要

伊都国歴史博物館では、夏季企画展として、糸島高校郷土博物館を取り上げた「よみがえる糸高の名宝」展を開催する。

糸島高校郷土博物館は、糸島地方ゆかりの貴重な資料を多数収蔵し、高校附属博物館としては全国でも珍しい博物館相当施設（※1）である（昭和31年指定）。時代の変化とともに、かつて各地の学校施設に設置されていた歴史資料館や展示施設の多くが閉鎖などを余儀なくされる中、同館は地域と向き合いながら活動を続け、今年、指定から60周年目を迎えることとなった。

本展では、同館所蔵の名品を広く紹介するとともに、これまでのあゆみも振り返り、地域の歴史・文化の継承に果たしてきた役割と意義についても考えていく。

※1 博物館相当施設：博物館法第29条に定める「博物館の事業に類する事業を行う施設」のこと。組織体制など所定の条件を満たした施設のみが指定を受けることができ、平成26年時点で349施設が指定されている。高校附属の施設で指定を受けた例（その後の解除も含む）は極めて少なく、現在も存続しているのは糸島高校郷土博物館のみ。

1. 企画展名 伊都国歴史博物館夏季企画展「よみがえる糸高の名宝」
（福岡県立糸島高等学校郷土博物館60周年記念展覧会）
2. 会場 伊都国歴史博物館 企画展示室（糸島市井原916）
3. 会期 平成28年7月16日（土）～9月11日（日）
月曜休館、ただし7月18日（月・祝）は開館し、翌19日（火）休館
4. 関連事業 糸島高校歴史部による研究発表
「イトシマの狛犬 ―旧糸島郡における狛犬の基礎的研究―」
①日時：平成28年7月16日（土）14時～15時
②場所：伊都国歴史博物館 企画展示室
③内容：本年5月に日本考古学協会総会の高校生ポスターセッションで優秀賞を受賞した、糸島高校歴史部の研究発表を行うもの。
5. 展示会の特徴
 - ①糸島高校郷土博物館の“選りすぐりの名品”を大公開
高校敷地内にあるため普段目にする機会が少ない、糸島ゆかりの貴重な資料の数々を広く紹介する（展示総数約50点、県指定文化財1件・市指定文化財1件を含む）。
 - ②糸島高校郷土博物館のあゆみにスポット
同館を舞台とした歴代の教員、生徒たちの活動を通して、多くの糸島の貴重な文化財が守り伝えられてきた。郷土博物館の足跡を振り返るとともに、糸高歴史部のいまを紹介する。
6. その他 本展は、「福岡県立糸島高等学校郷土博物館指定60周年記念展覧会」事業（主催：福岡県立糸島高等学校・糸島市立伊都国歴史博物館）の一環であり、その第一弾に位置づけられるものである。

【問い合わせ先】

糸島市立伊都国歴史博物館
（糸島市教育委員会文化課）
担当：岡部・中牟田
〒819-1582 福岡県糸島市井原 916
TEL 092-322-7083 FAX 092-321-9155

糸島市食品産業クラスター協議会設立総会の開催

協議会設立の目的

市では、食品関連事業者や農林水産事業者、販売・流通事業者が気軽に交流し、相互に連携することにより、地元の食材や人材、技術などそれぞれが持つ経営資源を有効に結び付け、新商品開発や販路開拓、地域ブランドの確立による雇用の創出、所得の向上など、地域経済を活性化させることを目的に「糸島市食品産業クラスター協議会」を設立します。

開催日時

平成28年7月1日（金） 17時～

開催場所

糸島市商工会 本所 大会議室

内 容

- ・経過報告
- ・議事

議案第1号 糸島市食品産業クラスター協議会設立趣意書について

議案第2号 糸島市食品産業クラスター協議会規約について

議案第3号 糸島市食品産業クラスター協議会役員選出について

議案第4号 平成28年度糸島市食品産業クラスター協議会事業計画について

- ・支援事業等の紹介（糸島市、糸島市商工会）

※総会終了後、交流会を行います。

入会申込件数

27件（食品関連事業者18件、農林水産事業者4件、流通・販売事業者2件、糸島市商工会、糸島農業協同組合、糸島漁業協同組合）

【問い合わせ先】
産業振興部 水産商工課 企業立地係
担当：山下
TEL：323-1111（内線1852）
332-2080（直通）

糸島市と相模女子大学・相模女子大学短期大学部が 連携協力に関する協定を締結します（東京事務所サービス関連）

【協定名】

糸島市及び相模女子大学・相模女子大学短期大学部との「これからの女性のはたらき方研究」連携協力に関する協定

【締結日等】

日時：平成 28 年 7 月 15 日（金）12 時 20 分～

場所：相模女子大学・相模女子大学短期大学部内

締結者：糸島市長 月形祐二、相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 風間 誠史（かざま せいし）

【要 旨】

糸島市と相模女子大学・相模女子大学短期大学部（以下「大学」という。）は、市が提供する地域での生活や就業体験と、大学が提供する学生の調査研究への参画機会を結び付け、これからの女性の多様なはたらき方や学生自らの人生形成（生き方）の可能性を広げる場を創出することを目的として、本協定を締結します。

《参考：相模女子大学について》

- 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1 に本部を置く私立大学。1949 年に設置。
 - 明治 36 年（1903 年）の専門学校令の適用を受けた学校の中で、1904 年に創立された日本女子大学（日本女子大学）、女子英学塾（津田塾大学）、青山女学院英文専門科（青山学院）について日本で 4 番目に古い女子大学である。
- 現在掲げられているスローガンは、「見つめる人になる。見つける人になる。」
 - このスローガンのもと、教育の一環として、学生の地域貢献活動に力を入れられており、各地に学生を派遣している。
 - 日経グローバル No. 281 での「2015 年度地域貢献度ランキング」では、全国 751 の国公私立大学を対象に実施された調査の中で、全国女子大学で 5 年連続第 1 位を獲得している。

【経 緯】

- 平成 27 年度、大学内で公募した「糸島市地域協働活動プログラム」に応募された 3 名の学生が、糸島市内の事業者宅に宿泊し、事業の手伝い、イベント販売などの実務体験や、関係する生産者等との交流を行った。
- このプログラムを通じて、参加学生に課題への取り組み方や、視野の広がり、人生観の良質な変化が生まれた。
- 大学は、糸島市という地域やそこに暮らす人が、学生の人生形成に与える潜在力を高く評価し、市に対して、さらなる関係深化を希望された。
- 一方、糸島市は市外に糸島市の理解を深めてもらえる人を増加させるための、継続的な仕組み造りを模索していた。
- 市と大学で、双方のメリットが見出されたため、単発ではなく、年間を通じた活動が、継続的に実施できる体制を整えるため、連携協定を締結することとなった。

平成 27 年 6 月	糸島市地域協働活動プログラムの開催を決定し、参加学生を学内公募
平成 27 年 8 月	5 日間、学生 3 名が糸島市内の「惣菜畑がんこ」にてホームステイ研修
平成 27 年 11 月	学祭『相生祭』の地域物産展で、学生が糸島食材販売のブース出店
	小田急ホテルセンチュリー相模大野レストランにて、糸島食材の学生企画メニューを販売
平成 28 年 3 月	平成 28 年度以降の市と大学との連携に関する協議開始
平成 28 年 5 月	連携協定締結に向けた事務協議
平成 28 年 6 月	平成 28 年度のプログラム参加学生を学内公募
平成 28 年 7 月	協定の締結

【内 容…連携事業のイメージ】

糸島市をフィールドに、学生が地域の人、仕事、生活にふれあい、「日本の女性の働き方」を研究してもらう。女性がいきいきと持続的に働くためには何が課題か、必要かを考えるとともに、自分のキャリア形成も考えてもらい、研究の成果は学内外で広く発表してもらうこととしています。

日程	項目	内容
5 月 31 日～6 月 4 日	学内募集	プロジェクト説明会 (5/31) と募集 (6/4 12 時)
6 月 8 日	参加者説明会	6 月 6 日 合計 7 名の参加者を決定・通知 ● 栄養科学部管理栄養学科 3 名 (2 年生 3 名) ● 人間社会学部社会マネジメント学科 4 名 (2 年生 2 名、1 年生 2 名)
6 月 15 日～7 月上旬	プロジェクト計画	事前調査、研究計画の策定
7 月 15 日	協定締結式	締結式の運営も学生関与
9 月上旬	糸島訪問 (3 日間)	2 泊 3 日で糸島人インタビュー、チャレンジショップ等の企画に向けた情報収集
11 月 3 日	相生祭	糸島での経験をフィードバックし出店
2 月中旬	糸島訪問 (5 日間)	4 泊 5 日で糸島市内でのチャレンジショップ実施
3 月上旬	成果発表会	学内発表その他
期間中どこかで	活動資金獲得	例：マルシェ等での仕入れ販売、協賛依頼
毎月	プロジェクトミーティング	概ね毎月、助言者とミーティングを実施

※上記の大まかなスケジュールはありますが、毎月のミーティングで学生自らが考え、行動を決定する仕組みとするため、詳細は変更の可能性があります。

※糸島市での受け入れ先は平成 27 年度に引き続き、惣菜畑がんこ (糸島市加布里 950-1) 柚木マスマ氏を中心に組み立てていく予定です。

・平成 28 年度の活動を通して、学生自らが次年度以降の宿泊先を見つけていくことも期待しています。

【問い合わせ先】企画部シティセールス課
小嶋、井上、岡 電話：332-2079